

■れすばす7月号 ワンポイント

グローバル教育コンクール2010

地球や世界が抱えるさまざまな問題について知り、
文化・民族・宗教を異にするさまざまな人々が共生で
きる公正な社会をつくるために何が必要かを学ぶ
「グローバル教育」。遠い国の話と思いがちな貧困や
環境問題を自分たちにつながる問題として考え、その
解決のために行動することができる人間の育成を目指
しています。



2009年の入賞作品
「アフリカ難民の人たちの暮らし」

外務省主催の「グローバル教育コンクール」は、学校などでグローバル教育を実践する際
に教材として活用できる作品を募集するもの。平成16年度（2004年）から「開発教育／国際
理解教育コンクール」という名称で行われていましたが、昨年度から「グローバル教育
コンクール」へと改称したことに伴い、貧困や感染症などのほか、環境問題や気候変動
へもテーマを広げ、幅広い作品を受け付けています。

今年度の応募部門はふたつ。「写真・映像」部門では、世界が抱える問題を知るきっかけと
なる写真や映像を、「国際協力レポート」部門では、国際協力に関する取り組みの活動
報告を募集しています。個人、学校、NGO など、所属や年齢を問わず応募が可能。この
コンクールで「外務大臣賞」を受賞すると、ODA援助の現場の視察に参加することができます。

「グローバル教育コンクール2010」の応募期間は6月1日～10月31日。12月下旬に入賞作品

が発表され、来年2月6日に大阪で開催される「ワン・ワールド・フェスティバル」にて表彰式が行われる予定です。あなたが撮った写真や映像で、子どもたちに世界の現状を伝えてみませんか。

グローバル教育コンクール2010公式サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/edu/contest/2010/index.html>